

経済学部・経済学会主催 ディベート大会 5 周年記念

同志社大学 経済学部講演会

TPP参加の是非を考える ～経済のグローバル化時代における日本の在り方～

【講演要旨】

新政権になって以来、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）がメディアを賑わせています。TPPは「経済のグローバル化」の具体的な形であり、以前より日本国内においてもその参加の是非が問われてきました。経済はもとより、農業や医療、社会保障までその影響は多岐にわたると言われています。本講演会ではTPP参加のメリット・デメリットを考え直すことで経済のグローバル化について理解を深めると同時に、日本はこれからどうあるべきかを考えます。

講師：岡本 由美子 氏
(同志社大学政策学部教授)

講師プロフィール

岡本 由美子（おかもと ゆみこ）教授

東京外国語大学ポルトガル・ブラジル語学科卒業。ハワイ大学大学院経済研究科博士課程修了。名古屋大学助教授等を経て2004年より現職。専門は国際経済学、グローバル経済論、イノベーションの経済学。主な論文に「東アジアの産業集積と日本の選択」（馬田・浦田・木村編『日本通商政策論』文真堂、2011年）、「慎重なるマレーシアの二国間FTAの交渉：マレーシアの新しい貿易政策の誕生か？」（ヴィニョード・K・アガワル／浦田秀次郎編『FTAの政治経済分析』文真堂、2010年）など。

日時：2013年6月25日（火）14:55～16:25

会場：同志社大学 今出川校地 良心館102番教室

入場無料
事前申込不要

【主催】同志社大学経済学部／同志社大学経済学会

【お問い合わせ】

同志社大学経済学部・経済学研究科事務室

TEL: 075-251-3534 E-mail: ji-keikn@mail.doshisha.ac.jp